

販売用資料  
2022年10月



# SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ (年2回決算型) / 愛称: jrevive II

追加型投信 / 国内 / 株式

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

## 本資料のお取扱いについてのご注意

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社により作成されております。○本資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成されておりますがその正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証ではありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。購入のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。○投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは

■設定・運用は

## 岡三証券

商号等：岡三証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号  
加入協会：日本証券業協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会/  
一般社団法人日本暗号資産取引業協会

**SBI** Asset Management

商号等：SBIアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 本ファンドの着眼点

## ファンドの特色

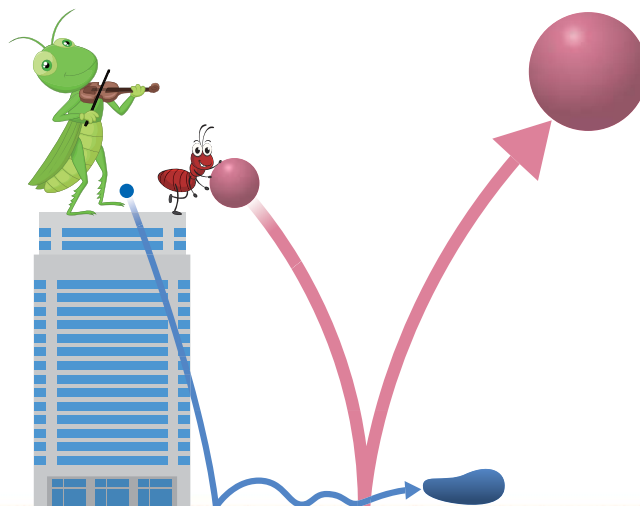
- 1 株価が下落した銘柄から財務安定性に優れ、業績も安定しており、わが国の経済社会に貢献すると考えられる企業の株式に厳選投資します。
- 2 エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社(AJAM)より投資に関する助言を受けて運用します。

## 組入銘柄を選ぶポイント

- 1 財務体質が健全な企業
- 2 黒字継続、あるいは、堅実成長が見込まれる企業
- 3 株価が大幅に過小評価されている企業
- 4 AJAMと経営者との『個別直接面談調査』の蓄積がある企業

## 健全な企業の成長イメージ

空気がいっぱい詰まっている企業ほど、高いところから落下する場合には、株価の反発力(リターン)が高まる傾向があります。



※上記はイメージ図であり、ファンドの将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 極めて慎重な投資手法

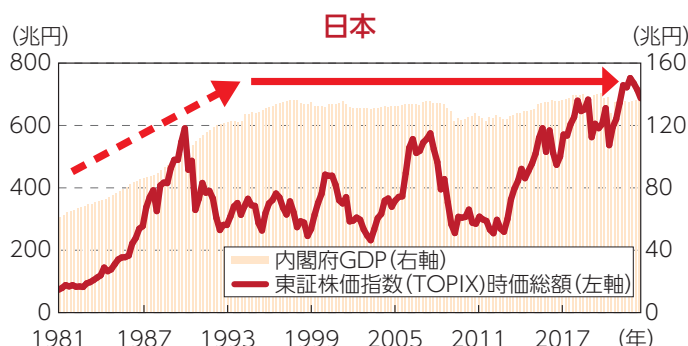
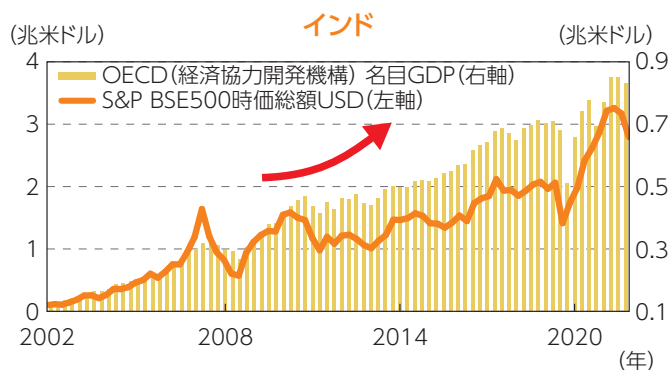
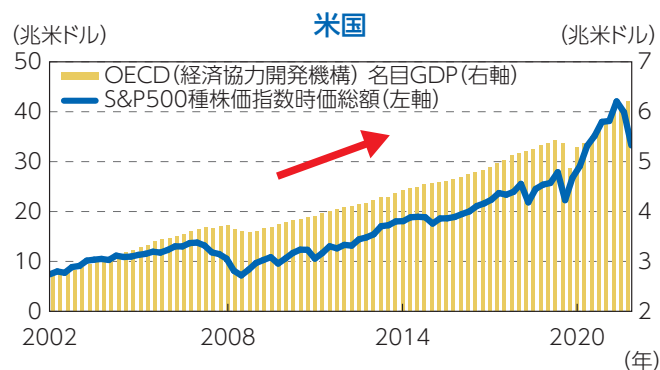
- 本ファンドでは1社に依存しすぎないように分散投資を徹底しています。
- 個別直接面談調査により約50社に厳選して投資を行い、組入れ時には徐々に買付けを行う「時間の分散」も図ります。また、株価が上昇しても1銘柄ごとのファンド組入比率は原則4%未満を維持します。

資金動向及び市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

○巻頭の「本資料のお取扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。

# なぜ大型株ではなく、中小型株？

## 「経済規模の拡大=株式市場の拡大」

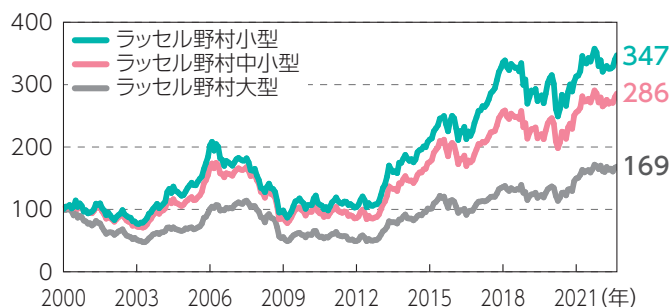


- 一般的に株式市場は自国の経済規模を映す鏡であり、経済成長が堅調であれば、株式市場は拡大し続けます。
- 日本の場合、高度経済成長以降、株式市場との相関性は薄れています。人口が減少し、国内総生産(GDP)成長率の鈍化が予想される中、堅調な経済成長に基づいた、株式市場の大幅な上昇は見込みがたい現状です。

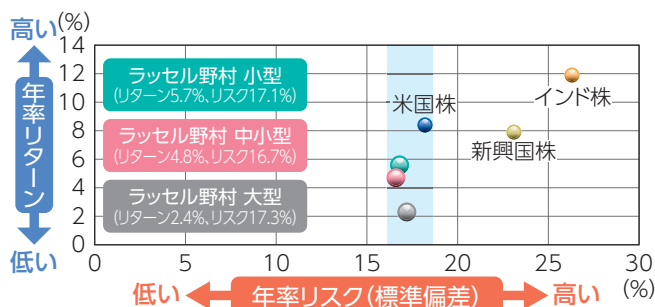
※OECD算出の名目GDP(季節調整済)、内閣府算出の名目GDPを使用。データ期間：米国・インド(2002年9月末～2022年6月末、四半期ベース) 日本(1980年12月末～2022年6月末：四半期ベース)  
[出所]BloombergよりJSBIアセットマネジメント作成

## 「新興企業+投資効率性 = 国内中小型株市場」

### 国内株式市場(サイズ別)の推移



### 投資効率性の比較



- 国内においても、新興国と同じように急速な成長を続けている市場が存在します。
- ご覧のように中小型株市場は堅調に推移しています。「中小型株」と聞くと、リスクが高いように思われますが、実は大型株や米国株、新興国株(インド株)と比べて、総じて低リスクであり、堅調なリターンを獲得しています。

※ラッセル野村インデックスとは、野村証券金融工学研究センターと米ラッセル社が提供する日本株式インデックスです。対象は新興市場を含む日本市場の全銘柄で、時価総額上位98%をカバーします。時価総額上位85%を大型、下位50%を中小型、下位15%を小型と分類します。

※データ期間(1999年12月末～2022年6月末：月次ベース)

※ラッセル野村(小型、中小型、大型)インデックスは基準時点を100として指数化。

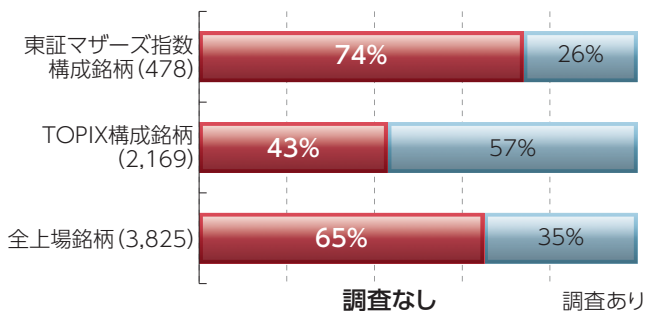
米国株：S&P500種指数、新興国株：MSCIエマージング指数、インド株：センセックス指数、各指数は円換算後の値を使用。

[出所]BloombergよりJSBIアセットマネジメント作成

# 情報が少ない市場で高いリターンを得るには

## 中小型株市場は情報が少ない

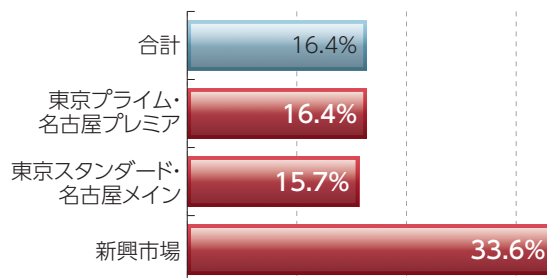
### 定期調査がされていない企業\*の割合



\*Bloomberg社に情報提供を行っている証券アナリストの担当が0名の企業を指します。

[出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成。2022年8月末時点

### 市場別の来期増益率予想



※市場別の来期増益率予想：銀行・保険を含まない。合計には地方単独も含む。

[出所]東洋経済【会社四季報 2022年3集、夏号】より、SBIアセットマネジメント作成。

## 中小型株式のプロフェッショナルが銘柄選定の助言を行う

### エンジェルジャパン・アセットマネジメント社



### 強みの源泉となる4つの特色

- “経営者と個別面談”** 企業面談では必ず、財務担当者でなく、実際に意思決定する経営者とチーム全員で個別面談を行います。
- “完全なチーム運用”** 新興成長企業は判断が難しいため、様々な経験・視点を持つメンバーによる完全なチーム運用を実施。投資判断は個人に依存しません。
- “定期面談”** IPO(株式の新規公開)時にほとんど全ての企業に面談調査を行い、革新的な企業と判断した企業とは、以後、定期的に面談を実施しています。
- “厳選50社パッケージ”** 革新的な企業を3つの成長ステージに分類し、各ステージごとに今が旬となる「厳選50社パッケージ」の構築に努めます。

### <助言ファンド受賞履歴(直近3年)>

2022年	[ジェイネクスト]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2022最優秀ファンド賞」受賞(投資信託10年 国内中小型株式部門) [ジェイネクスト]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2022優秀ファンド賞」受賞(投資信託 国内中小型株式部門) [ジェイネクスト]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2022最優秀ファンド賞」受賞(NISA 国内中小型株式部門)
2021年	[ジェイリバイブ]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2021最優秀ファンド賞」受賞 [ジェイネクスト]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2021優秀ファンド賞」受賞(2部門)
2020年	[ジェイリバイブ]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2020最優秀ファンド賞」受賞 [ジェイネクスト]が格付投資情報センター「R&Iファンド大賞2020優秀ファンド賞」受賞(2部門) [ジェイネクスト]が「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ2020ジャパン最優秀ファンド賞」受賞

※過去3年間にけるエンジェルジャパン社の助言ファンドの受賞歴

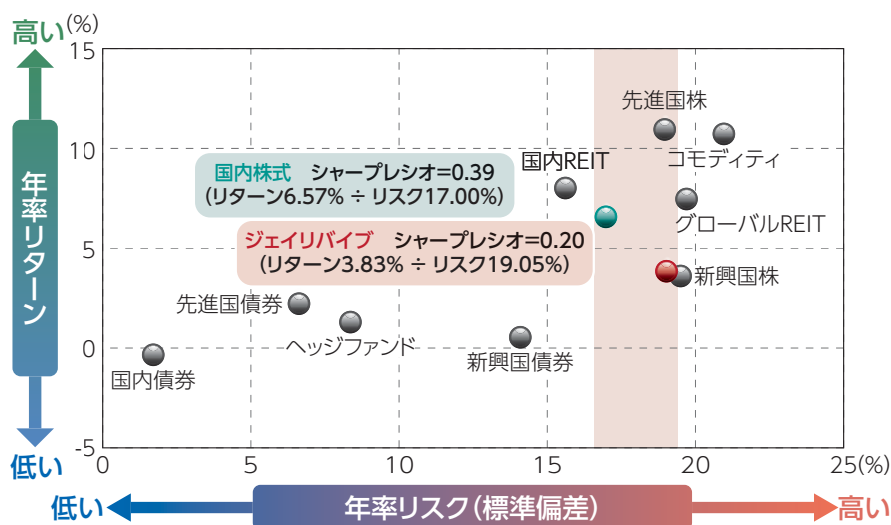
■「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(毎年3月末における3年間の定量評価。ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

■「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ ジャパン」の評価の基となる Lipper Leader Rating(リップパー・リーダー・レーティング)システムのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipperが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

○巻頭の「本資料のお取り扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。

# パフォーマンスについて

## 各資産クラスとの投資効率比較(期間5年)



- ファンドの運用では、投資効率性を示す指標として「シャープレシオ\*」が重視されます。
- 当ファンドのシャープレシオは低迷していますが、これは世界的な金利上昇圧力の高まりなどを背景に中小型株の割当度合いが強まった結果です。

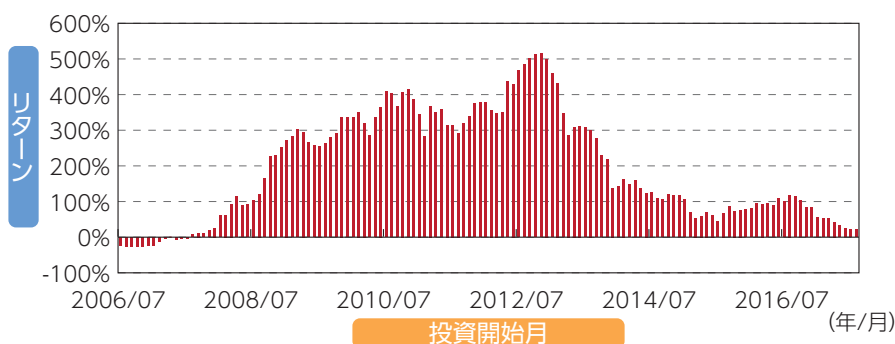
\*: 「シャープレシオ」は、リターンを得るためにどれくらいのリスクをとっているかを示しており、数値が大きいほど投資の効率性が高いことを示します。

※基準日: 2022年8月末。

※各資産クラスはモーニングスターのカテゴリから算出。先進国株、先進国債券、グローバルREITは日本を除く。

[出所]モーニングスターのデータベースよりSBIアセットマネジメント作成

## 「ジェイリバイブ マザーファンド」の5年トータルリターンの推移



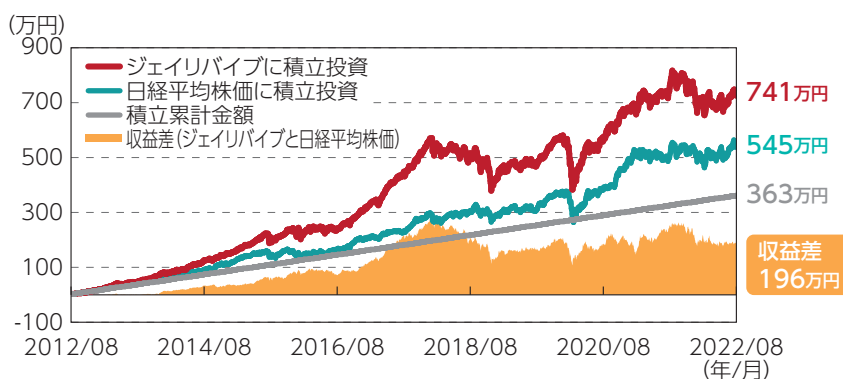
- 当ファンドでは投資効率の高さゆえ、どのタイミング(月末基準)で投資を開始しても、5年間保有すれば約9割の確率でプラスリターンを得られていたことになります。

※2006年7月～2017年8月の各月末に投資を開始し、5年保有した場合のトータルリターン。

[出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

	プラスの回数①	マイナスの回数②	勝率 ①÷(①+②)	最大リターン	最小リターン	平均リターン
ジェイリバイブ	122	12	91%	516%	-28%	195%
<ご参考> TOPIX	108	26	81%	163%	-55%	47%

## 積立投資による収益推移(毎月3万円)



- 毎月月末に3万円投資していた場合のシミュレーションです。
- 日経平均株価インデックスファンドを積立した場合と比較しても、大幅な超過収益を確保しております。

データ期間: 2012年8月～2022年8月

※過去の値動きに基づいたシミュレーションであり、将来の収益を保証するものではありません。

[出所]BloombergよりSBIアセットマネジメント作成

# 投資リスク

## 基準価額の変動要因

本ファンドは、マザーファンドを通じて主に国内株式に投資を行います。株式等値動きのある証券を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する中小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。**

信託財産に生じた**利益及び損失は、全て投資者に帰属します。**なお、**投資信託は預貯金と異なります。**

## 主な変動要因

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドは株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。
流動性リスク	株式を売却あるいは取得しようとする際に、十分な流動性の下での取引を行えず、市場実勢から期待される価格で売買できない可能性があります。この場合、基準価額は影響を受け、損失を被ることがあります。
信用リスク	投資した企業や取引先等の経営・財務状況が悪化するまたは悪化が予想される場合等により、株式の価格が下落した場合には基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

## リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの分析及び運用リスクの管理をリスク管理関連の各種委員会を設けて行っています。

## ファンドの関係法人

<委託会社>

**SBIアセットマネジメント株式会社**

(ファンドの運用指図を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号

加入協会／一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会

<受託会社>

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

(ファンド財産の保管・管理等を行います。)

○巻頭の「本資料のお取扱いについてのご留意事項」を必ずご確認ください。

# お申込みメモ

## お申込みメモ

購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。(当初元本1口=1円) 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額となります。 換金手数料はかかりません。
換金代金	換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いいたします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※受付時間は販売会社によって異なることでもありますのでご注意ください。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口解約には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	無期限(設定日:2015年7月10日)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	年2回(原則として1月と7月の各22日。休業日の場合は翌営業日。)
収益分配	年2回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社によっては分配金の再投資コースを設けています。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託金の限度額	1,000億円
公 告	原則として、電子公告の方法により行い、次のアドレスに掲載します。 <a href="http://www.sbiam.co.jp/">http://www.sbiam.co.jp/</a>
運用報告書	ファンドの決算時及び償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 ※税制が改正された場合には、変更となる場合があります。税金の取扱いの詳細については、 税務専門家にご確認されることをお勧めします。

# 本ファンドに係る費用・税金

## ファンドの費用

### ■投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>3.3%</b> ( <b>税抜:3.0%</b> )を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明、情報提供及び事務手続き等にかかる対価
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に <b>0.3%</b> を乗じて得た額とします。	換金に伴う有価証券売買委託手数料等の費用

### ■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に <b>年1.848%</b> ( <b>税抜:年1.68%</b> )を乗じて得た額とします。 信託報酬は毎日計上され、毎計算期末及び信託終了のときにファンドから支払われます。 信託報酬=運用期間中の基準価額×信託報酬率 <信託報酬の配分(税抜)>	
	支払先	料率
	委託会社	年0.96%
	販売会社	年0.67%
	受託会社	年0.05%
その他の費用 及び手数料	ファンドの監査費用、有価証券売買時の売買手数料、信託事務の諸費用、目論見書・有価証券届出書・有価証券報告書・運用報告書作成などの開示資料の作成、印刷にかかる費用及びこれらに対する税金をファンドより間接的にご負担いただきます。監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。	

支払先	料率	役務の内容
委託会社	年0.96%	ファンドの運用、基準価額の算出、ディスクロージャー等の対価
販売会社	年0.67%	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価
受託会社	年0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

上記各支払先への料率には、別途消費税等相当額がかかります。  
委託会社の報酬より、投資顧問(助言)会社への報酬が支払われます。

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

税金は以下の表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法などにより異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税*及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時及び償還時	所得税*及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

\*復興特別所得税を含みます

- ・ 上記は2022年7月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- ・ 少額投資非課税制度[愛称:NISA(ニーサ)]、未成年者少額投資非課税制度[愛称:ジュニアNISA(ジュニアニーサ)]をご利用の場合
- ・ NISA及びジュニアNISAをご利用の場合、毎年一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 法人の場合は上記とは異なります。
- ・ 税金の取扱いの詳細については、税務専門家にご確認されることをお勧めします。